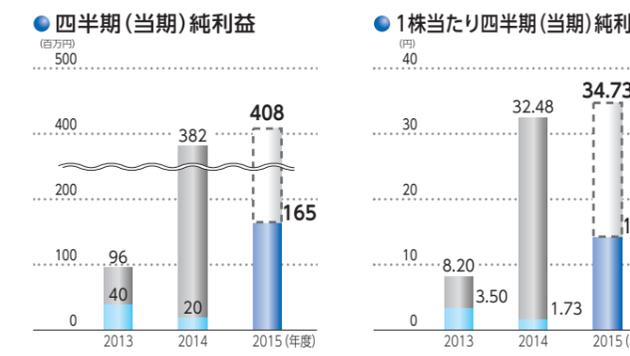
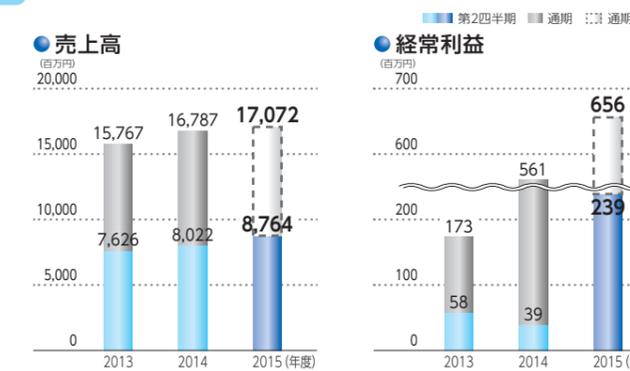


売上高	8,764 百万円	前年同期比	9.2%増
営業利益	206 百万円	前年同期比	1,475.2%増
経常利益	239 百万円	前年同期比	500.7%増
四半期純利益	165 百万円	前年同期比	713.0%増
1株当たり 四半期純利益	14円27銭	前年同期	1円73銭

## 業績の推移



## PICK UP 2 お客様の満足を獲得して受注拡大 総合品質ソリューションサービス『iMPLEO』



『iMPLEO』とは、高品質なシステムを実現することで、お客様の「満足につながる」ことを目指す当社の総合品質ソリューションサービスです。

2013年10月に、同サービスをさまざまな業界へ展開・拡販することを目的として「インプレオサービス部」が設立されてから丸2年。エンドユーザーや開発ベンダーに代わり、客観的にシステム品質を検証する第三者検証サービスを核とする同サービスは、大手通信事業者様の現場で培ったノウハウをベースに、損害保険事業者様やメンタルヘルスケア事業者様といった新たなお客様を開拓し、着実に実績を積み上げてまいりました。

そうした実績の背景には、営業担当者のみならず、よりお客様に近い現場担当者が積極的なコミュニケーションや情報

収集を行うことで、業務内容やユーザーニーズの把握に努めるほか、ときにはお客様企業の経営層に対してサービス導入の効果報告や勉強会を行うなど、常にその有効性・必要性を訴求するとともに、お客様の満足を第一に追求してきたということがあります。

そして2015年度。既存のお客様に加え、不動産事業者様、印刷事業者様といった新たなお客様を獲得、受注も拡大しております。これら新たなお客様にとっても、「満足につながる」サービスを提供し、さらなる高みを目指してまいります。

●「iMPLEO」に関するお問い合わせ  
第3営業部 TEL：03-6400-7013

## PICK UP 3 「第54回ビジネス広告大賞」(主催・フジサンケイビジネスアイ)で佳作受賞 「私の仕事」をテーマに社員自らPR

3月～6月までの毎週金曜日、13週にわたって総合経済紙『フジサンケイビジネスアイ』(1面左下枠)に掲載された当社の広告が、「第54回ビジネス広告大賞・雑報広告部門」で佳作を受賞しました。

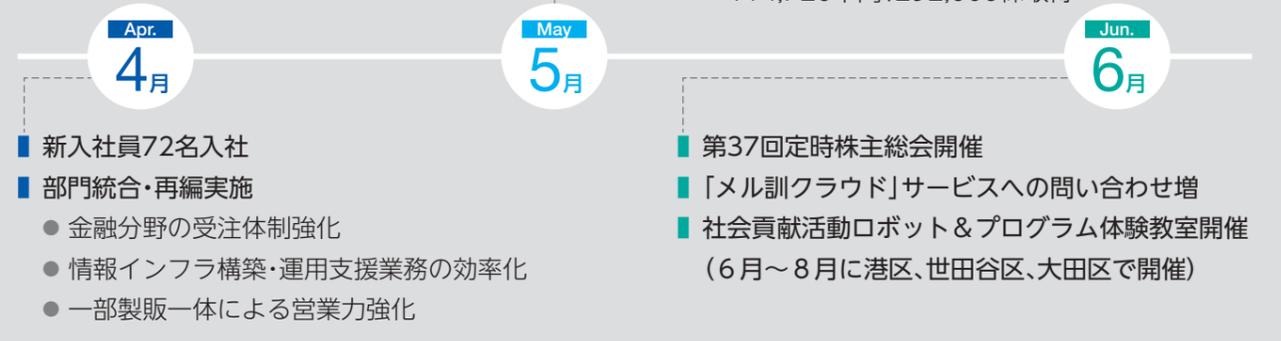
当広告は、「私の仕事」をテーマとしたメッセージとともに、12名の社員が入れ替わり登場するシリーズ広告(1週目のみイメージ広告)として企画・制作。全部門あわせて120以上あった応募作品のほとんどが広告制作会社によるものでしたが、当社の作品は、当社社員がモデルとなり、メッセージ原稿も社員自らが執筆。さらに、デザイン、カメラワークなども自

社で賄うといった手作りの企画でした。

主催者によれば、「若手を中心に事業への取り組みや企業姿勢が伝わってきた」「社員が前面に出て、それぞれの言葉で自分の仕事を表現しており企業イメージをアップさせる」といった点が、審査員の皆様に評価されたとのこと。まさに社員一丸となつての受賞でした。なお、当受賞につきましては、『フジサンケイビジネスアイ』紙上(2015.10.22付)に、受賞社名一覧が掲載されました。

●当件に関するお問い合わせ  
広報・IR室 TEL：03-6400-7010

## 2016年3月期 第2四半期トピックス



## PICK UP 1 クラウドでのシステム構築・運用に注力 APNコンサルティングパートナー取得

当社は、これまでもクラウド環境でのシステム構築・運用支援サービスを行ってまいりましたが、今後も続く市場拡大、お客様からのご要望の増加を見据え、構築・運用サービスの社内受注体制を整備いたしました。

その一環として、このたび、クラウドサービスを提供するアマゾンウェブサービス(以下AWS)のパートナープログラムであるAWS Partner Network(以下APN)コンサルティングパートナーに加入いたしました。APNコンサルティングパートナーとは、AWS上でのアプリケーションの設計、構築などを支援するプロフェッショナルサービス企業の認定資格です。今回当社は「スタンダード」カテゴリでの認証で、今後は、さらなる上位カテゴリーを目指してまいります。

ご提供するの、新規、既存システムの移行など、お客様のニーズとAWSの特性を照らしあわせ、最適な環境の構築を

支援するサービス。また、対象サーバに対して、監視および障害対応を行う運用支援サービスをご提供いたします。

当初は、クラウドへのご要望が強い、既存のお客様をターゲットに実績を積み重ね、技術者の育成を行い、その後、培ったノウハウをもとに、新規のお客様への横展開を考えております。また同時に、分析基盤、セキュリティ基盤などのサービスメニューの拡充も検討しており、より多くのお客様へのご要望に応じてまいります。

※アマゾンウェブサービス、AWS、およびその他のAWS商標は、米国その他の諸国における、Amazon.com,Inc.またはその関連会社の商標です。

●当件に関するお問い合わせ  
第3営業部 TEL：03-6400-7013



代表取締役社長  
安藤 文男

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。このたび、アイエックス・ナレッジ株式会社2015年度第2四半期(2015年4月1日～2015年9月30日)の決算を終了いたしました。ここに業績・トピックスなどをご説明する「株主通信」をお届けいたします。

本誌を通じて当社に対するご理解を深めていただければ幸いです。今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### <2015年度第2四半期決算のポイント>

- ✓金融・証券分野では、メガバンク向け次期システム開発が堅調に推移していることに加え、生保や信託系の証券業務においても既存顧客を中心に受注規模が拡大し、売上高が大きく伸長
- ✓社会・公共分野は、国民保険システムの受注拡大や前期から続くマイナンバー関連開発業務が堅調に推移することによって売上高が伸長
- ✓一方、情報・通信分野では、顧客のシステム投資鈍化の影響により売上高は微増。また、産業・サービス分野は、大型案件の収束などにより売上高が低調に推移

これらの結果、当第2四半期の売上高は、8,764百万円(前年同期比9.2%増)となりました。また利益面については、売上高の伸長に加え、販売費及び一般管理費の減少と投資有価証券の売却益を特別利益に計上した事により、営業利益206百万円(同1,475.2%増)、経常利益239百万円(同500.7%増)、四半期純利益165百万円(同713.0%増)をそれぞれ計上しました。

アイエックス・ナレッジ株式会社

REPORT

第38期 第2四半期  
2015年4月1日～2015年9月30日

株主通信



株式の状況 (2015年9月30日現在)

発行可能株式総数 50,000,000株  
発行済株式の総数 13,034,660株  
株主数 1,822名

大株主

株主名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)	
安藤文男	1,515	13.57	現当社代表取締役社長
IKI持株会	1,475	13.21	
安藤多喜夫	949	8.50	現当社相談役
畑中章孝	248	2.22	
株式会社三菱東京UFJ銀行	214	1.91	
株式会社千葉興業銀行	203	1.81	
春日正好	203	1.81	現当社最高顧問
有限会社エム・ピー・エス	200	1.79	
三井創ホールディングス株式会社	200	1.79	
住友生命保険相互会社	139	1.24	

※自己株式1,572千株を保有しております。

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日  
定時株主総会 毎年6月に開催  
同総会議決権行使株主確定日 3月31日  
期末配当金受領株主確定日 3月31日  
中間配当金受領株主確定日 9月30日(中間配当を行う場合)  
その他の基準日 上記のほか必要ある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定いたします。

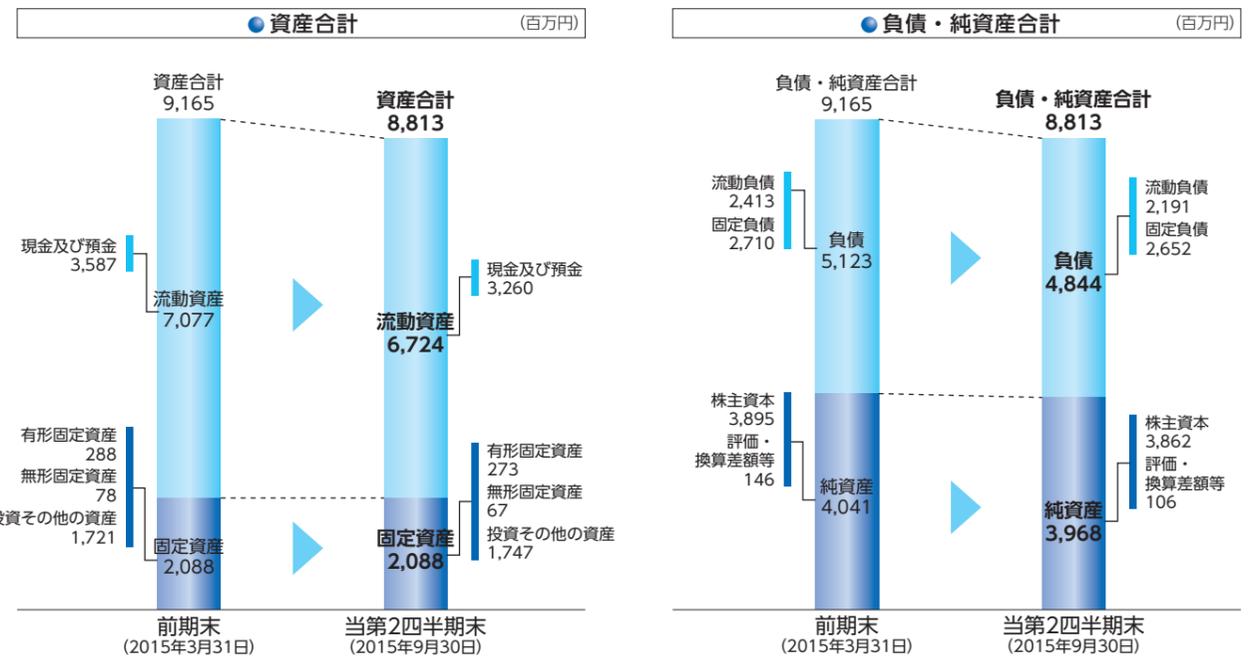
公告掲載URL 当社ホームページ  
http://www.ikic.co.jp/ir/download.html  
に掲載いたします。(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

単元株式数 1,000株  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
(同連絡先) 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)  
上場金融商品取引所 東京証券取引所JASDAQ (スタンダード)

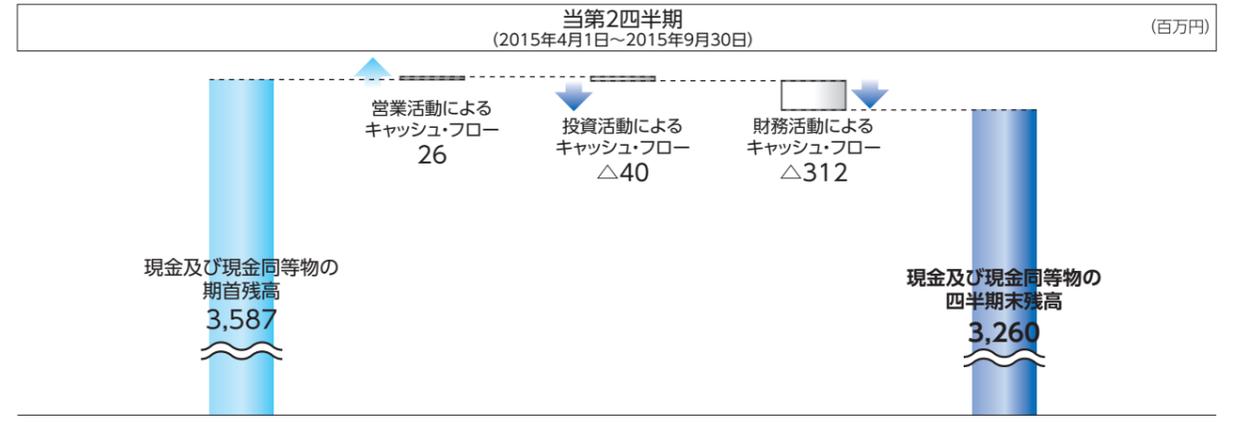
アイエックス・ナレッジ株式会社  
〒108-0022 東京都港区海岸 3-22-23  
TEL.03-6400-7000 (代表) FAX.03-6400-7900



貸借対照表の概要



キャッシュ・フロー計算書の概要

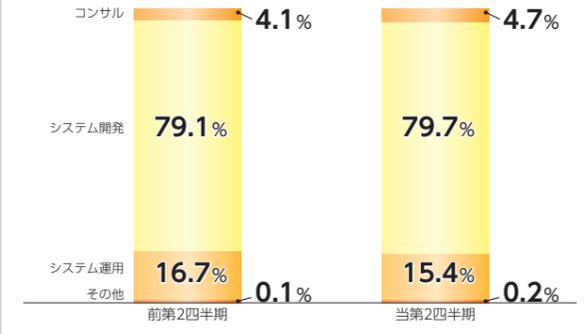


業績の概要

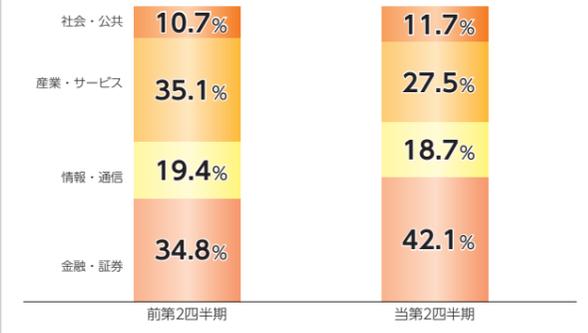
■損益計算書 (百万円)

科目	当第2四半期 (2015年度 第2四半期/累計)	前第2四半期 (2014年度 第2四半期/累計)	前期 (2014年度)
売上高	8,764	8,022	16,787
売上原価	7,397	6,804	14,038
売上総利益	1,367	1,218	2,748
販売費及び一般管理費	1,160	1,205	2,232
営業利益	206	13	515
営業外収益	38	30	52
営業外費用	5	3	6
経常利益	239	39	561
特別利益	15	—	5
特別損失	0	0	105
税引前四半期(当期)純利益	255	39	460
法人税等	90	19	78
四半期(当期)純利益	165	20	382

品目別売上高比率



業種別売上高比率



■2015年度通期業績予想

項目	2015年度	前期比
売上高	17,072百万円	1.7%増
営業利益	626百万円	21.5%増
経常利益	656百万円	17.1%増
当期純利益	408百万円	6.9%増
1株当たり当期純利益	34円73銭	前期 32円48銭

第3四半期以降も、特に金融・証券分野の開発案件は、引き続き堅調に推移するものとみております。それらを確実に受注に結びつけることにより、通期業績は、売上高17,072百万円(前期比1.7%増)、営業利益626百万円(同21.5%増)、経常利益656百万円(同17.1%増)、当期純利益408百万円(同6.9%増)をそれぞれ見込んでおります。